

世界の国々紹介（心に火をつける）！



「優しく、素直で、真面目な子供たちばかりの中部小。こんなすばらしい子どもたちを、更に伸ばすにはどうしたら…。」

これは、夏の終わり、校長室で開いた、学力向上の会議の中でのやりとり。足りないのは何？私の感覚としては、1年半前の赴任時から感じていた、自主・自発の心を育てていくことこそ肝要なことではないかと！

そして、出会った言葉がこれ。

- ◎凡庸な教師は ただ喋る
- ◎良い教師は 説明する
- ◎優れた教師は 自らやってみせる
- ◎偉大な教師は 心に火をつける

ウィリアム・アーサーという教育学者の言葉です。ぜひ、本校の先生方には“子どもの心に火をつける”そんな教師を目指し、日々精進していただきたいと願っています。

また、月に1回のペースで組まれている、お話し集会（児童に向けた校長の話）では、今回、世界を意識した話をするにとしました。もちろん、児童の心に火をつけることを意識して！その概要を紹介します。

- ◎世界にはいくつの国があるか、人口は、どのくらいか知っていますか？
- ◎次の国は、どんなことで有名でしょう？
 - ・アイウエオ順で最初の国、アイスランド
 - ・スポーツ大国、アメリカ
 - ・ファッションの華やかな国、フランス

さてみなさん、行ってみたい国はありましたか？また、なってみたい職業が浮かびましたか？写真は、校長室の前に貼っておきます。みなさんが大人になる頃には、世界の国々は、今より更に身近になっているはず。だからこそ、日本人として、日本のことをきちんと語れることが必要です。というわけで日々の勉強が大事なんですよ、夢を叶えるためにもね。校長室前で、どんな会話が弾むのか楽しみです(*^o^*)

～平和を願って～

2学期始まって直ぐ、“平和”を願う活動を行いました。まず各学級で、平和学習を行いました。具体的には、学年相応の学びを保障するため、友達を大切にする、戦争に関わる絵本の読み語り、戦争の歴史を学ぶ等、発達に合わせたメニューで実施しました。また、平和への願いを込めながら全校で折り鶴を折る活動を実施しました。折った鶴は、6年生が10月の長崎修学旅行のおり、代表で平和公園に捧げることになっています。

今、世界中で問われている“平和”の意味。子供たちの純粋な願いが届きますように！そう願わずにはいられません。



“ほっと一息”

台風 11 号が通り過ぎた日、風が収まってから随時出勤した職員で、室内に避難させていたプラントや置き傘等を元通りに戻す作業をしていました。その時、運動場で、サッカーやキャッチボールで遊んでいた3人の高校生が、

「僕たちも手伝います！」

そう言ったや否や、落ち葉を運んだり、サッカーゴールを運んだり、朝礼台を移動させたり手伝いを…。聞くところによると、3人は、本校の卒業生だったとか。こんな素敵な行動ができる若者がいるなんて！温かい気持ちになると共に、これからの日本、捨てたもんじゃないな！心からそう感じた秋の一日でした(*^o^*)！



